

企画展
安城の今昔1 火消しまいるー消防の歴史と道具ー

会期：2019年4月13日(土)～6月30日(日) 観覧料：無料

人々の歴史の中で人間と火の関わりは切り離せないものでした。しかし火は時として家や財産、人間の命を奪うこともありました。防火・消防は、どの時代でも重要な課題でした。日本は古くから木造家屋のため類焼が激しく、家屋が密集している都市部では江戸時代から消防組織が編成されました。一方で地方の村々では自分たちで防火・消火を行ってきました。

近代以降、国の方針により各地に消防組織が編成されます。

安城でも旧村を単位とした消防組織が作られますが、組織の主体は住民でした。これが今の消防団に繋がっています。



このような消防の歴史と防火や消防の変遷を踏まえ、消防道具を展示します。昭和初期の消防ポンプ自動車(本館蔵)

歴史博物館 常設展

観覧料：一般 200円
中学生以下無料

「大地に生きづく人びとのくらしと文化」を主題に、安城の歴史の流れを10テーマに分けて紹介。矢作川流域の西三河の歴史を、政治・経済・文化の各方面から楽しく学べる常設展示室です。

国指定重要文化財の亀塚遺跡出土人面文壺形土器も展示しています。



人面文壺形土器(本館蔵)

博物館ボランティアによる常設展ガイド

第2・4土曜日 10:00～12:00 / 13:00～15:00

特別展
1964 ー東京五輪がもたらしたものー

会期：2019年7月20日(土)～9月1日(日) 観覧料：一般 400円
中学生以下無料

敗戦を契機に復興を遂げた日本は、その後立て続けに起こった神武景気や岩戸景気といった好景気により高度経済成長期に入りました。そのような中で念願の東京オリンピック招致が決まると、昭和39年(1964)の開催に向け東海道新幹線や高速道路網などの交通インフラ整備も急ピッチで進みました。

東京オリンピックを境にカラーテレビが徐々に浸透し、暮らしにも余裕が出るようになり、消費生活時代へと人々の生活も変化していきます。

今回の特別展では東京オリンピック開催の「1964年」にスポットを当て、当時の人々の暮らしを紹介します。

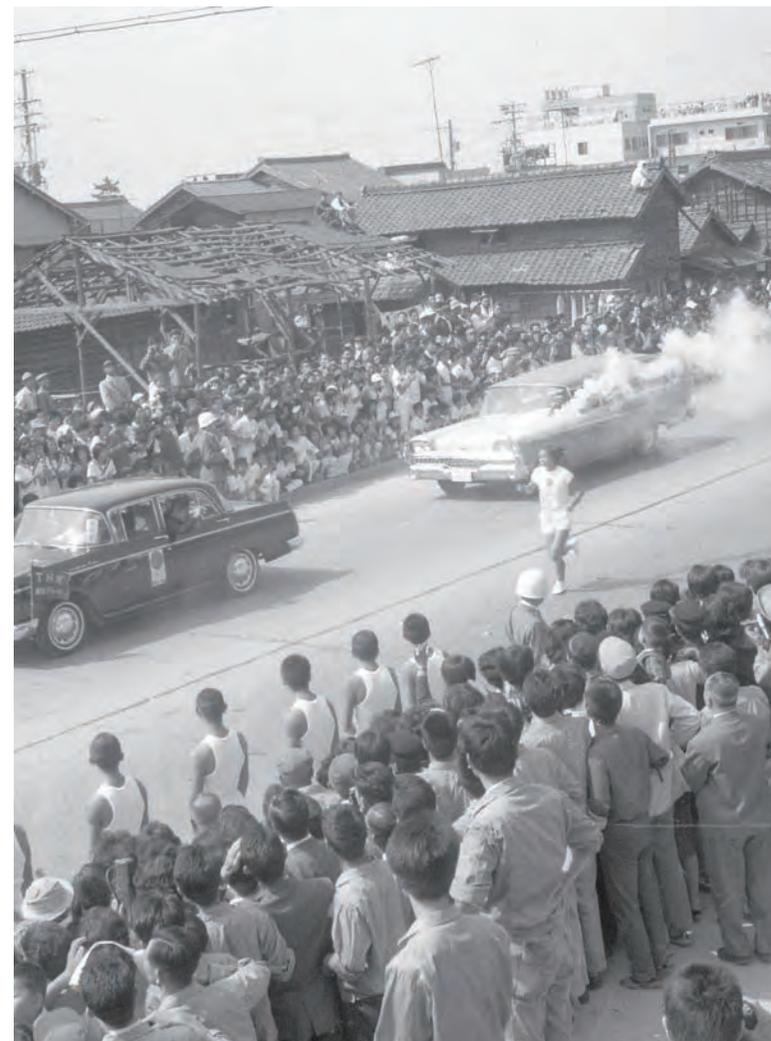


建設中の東海道新幹線
(安城南中学校附近、本市蔵)

安城市歴史博物館
催し物案内
2019.4-2019.9

ANJO CITY MUSEUM OF HISTORY

国道1号線を走る聖火ランナー(本市蔵)



利用案内

[常設展観覧料] 個人200円(中学生以下無料)・団体(20人以上)160円
障がい者手帳等お持ちの方及び同伴者1名様100円
[開館時間] 9:00～17:00(入館は16:30まで)
[休館日] 毎週月曜日(祝日の場合は開館)・年末年始(12/28～1/4)

交通案内

- 名鉄西尾線南安城駅より東へ徒歩10分
- JR東海道本線安城駅より、あんくるバス(1番系統安祥線)川島行き10分
- JR東海道新幹線三河安城駅よりタクシー20分
- 無料駐車場(250台収容)あり



住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地
電話 / 0566-77-6655 FAX / 0566-77-6600
URL / <https://ansyobunka.jp/> 安城市歴史博物館



2019年	4月 休 1.8.15.22	5月 休 13.20.27	6月 休 3.10.17.24	7月 休 1.8.22.29	8月 休 5.19.26	9月 休 9月～ 2020年3月	
● 展覧会	企画展 「安城の今昔1 火消しまいる ー消防の歴史と道具ー」 4月13日(土)～6月30日(日) ¥ 無料				特別展「1964 ー東京五輪がもたらしたものー」 7月20日(土)～9月1日(日) ¥ 一般400円・中学生以下無料		【休館のご案内】 耐震化、保全改修工事のため、下記の期間休館いたします。 2019年9月2日～2020年3月31日(予定) ※安城市民ギャラリー、安城市埋蔵文化財センターは開館しております。
■ 常設展	矢作川流域の原始古代から近現代にわたる歴史と文化を展示しています ¥ 一般200円・中学生以下無料						
● 記念講演会 歴博講座 ※申込不要 場 講座室		5月18日(土) 14:00～ 記念講演会「秋葉信仰と防火」 講師：堀江登志実氏 (岡崎市美術博物館学芸員)	6月15日(土) 14:00～ 歴博講座「火消しまいる ー安城に残る防火・消防の資料と歴史ー」 講師：三島一信(本館学芸員)	7月20日(土) 14:00～ 記念講演会「1964年 東京オリンピックが残したもの」 講師：松林秀樹氏 (平成国際大学 スポーツ健康学部准教授)	8月17日(土) 14:00～ 歴博講座 「オリンピックの前と後」 講師：石川貴信(本館学芸員)		
● 展示関連イベント ※申込不要 場 エントランス	「安城の“火消し”を体験」 *民具に触れる *刺し子で小物づくり ほか 4月13日(土)～6月30日(日)のうち土・日曜日限定開催(4月27日、5月4・5日は除く)			「1964年にタイムスリップ!懐かしの体験コーナー」 7月20日(土)～9月1日(日)			
● 入門講座(全5回) 場 講座室	目からウロコ安城史「こうしてできた安城の町ー明治・大正・昭和ー」 ●講師：高山忠士氏(本館元館長) ●各回 14:00～ ¥ 500円(全5回分) 申 定員30名						
	①4月13日(土) 「そこは原っぱだった」	②5月11日(土) 「原っぱに駆ができて」	③6月8日(土) 「日本中から人が来る」	④7月13日(土) 「町は急には変わらない」	⑤8月10日(土) 「したたか安城人」		
● 連続講座(全3回) ※申込不要 場 講座室	「安城歴博・中京大学連携講座」 ●各回 14:00～						
		①5月25日(土) 「弘治年間の今川・武田・織田の拮抗 ー三河念劇を取りまく政治環境ー」 講師：村岡幹生氏(文学部教授)	②6月22日(土) 「尾張徳川家の姫君と武家社会」 講師：白根孝胤氏(文学部教授)	③7月27日(土) 「壬申の乱と東海道の古代氏族」 講師：西村健太郎氏(文学部古文書室学芸員)			
● 体験講座 場 体験学習室	4月20日(土) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30 「はじめての刺し子体験 ～おしゃれ小物を作ろう～」 講師：伊藤恵梨氏(伊藤刺繍店) ¥ 500円～800円 申 各20名 ※各回共通	連続講座「姫きもの作ろう」(全6回) 各回 13:30～15:30 ★①5月9日(木) ②5月23日(木) ★③6月13日(木) ④6月27日(木) ★⑤7月11日(木) ⑥7月25日(木) 講師：榊原清美氏(古製美術工房) ¥ 5,000円(全6回分) 別途材料費：3,000円～4,000円要 申 12名			8月24日(土) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00 「オリジナル風鈴づくり」 ¥ 500円 申 各25名 ※各回共通		
							
● 歴博演芸場 イベント・その他 ※申込不要	4月27日(土) 10:00～15:00 「消防車がやってくる!消防体験デー」 4月27日(土) 10:30～ 歴博演芸場 「衣浦東部広域連合消防音楽隊 ふれあいコンサート」 場 安祥城址公園	5月3日(金・祝)・4日(土)・5日(日) 10:00～15:00 体験講座「鎧の試着会」 場 エントランスホール ※3・4日は要申込、5日は当日受付 5月19日(日) 無料開館 国際博物館の日(5月18日)にちなみ 常設展が無料となります			7月26日(金)・27日(土)・28日(日) 10:00～15:00 「夏休み自由研究相談会」 場 エントランスホール ※要申込	8月30日(金)～9月1日(日) 「ナイトミュージアム」 20:30まで開館延長 場 安城市歴史博物館・安城市民ギャラリー 8月30日(金) 19:00～ 歴博演芸場「格調高き昭和歌謡」 8月31日(土) 14:00～ 歴博演芸場「安城の芸妓衆」	
● 昭和の名作シネマ ※申込不要 場 講座室	4月28日(日) 10:00～ 90分 「若い人」(1962年) 出演：石原裕次郎、吉永小百合、浅丘ルリ子	5月26日(日) 10:00～ 118分 「愛と死をみつめて」(1964年) 出演：吉永小百合、浜田光夫	6月30日(日) 10:00～ 85分 「哀愁の夜」(1966年) 出演：舟木一夫、藤竜也、和泉雅子	7月28日(日) 10:00～ 86分 「けんかえれじい」(1966年) 出演：高橋英樹	8月25日(日) 10:00～ 86分 「スラバヤ殿下」(1955年) 出演：森繁久彌、馬淵晴子		
※記念講演会、歴博講座、連続講座、上映会の定員は80名です ※参加申込の方法は、インターネットや広報あじょうでお知らせします ※都合により、日時・内容・会場などを変更する場合がありますので、ご了承下さい							

**安祥文化のさとまつり
開催のご案内**
 10月5日(土)
 場 安祥城址公園
 ・安城市民ギャラリー
 ・安祥公民館